



the most beautiful  
villages  
in japan

喜界町は「日本で  
最も美しい村」連合  
に加盟しています。



# きかい

4

No.538



## 表紙説明

上嘉鉄地区と役場、学校、病院などでこのほど、地震と津波を想定した防災訓練があった。

地域住民や消防、警察らも参加して、情報の共有や住民間の連携体制を確認。普段からの防災意識の高揚を誓った。

（「遠慮」の本来の意味は「将来を思慮する」）

## CONTENTS

平成 24 年度施政方針	・ ・ ・ ・ ・ P 2
シマの話題その 1	
（さとうきび緊急生産対策本部を設置 他）	・ ・ ・ ・ ・ P 8
島の神社探訪	・ ・ ・ ・ ・ P12
ゴマダラカミキリ買い取ります！	・ ・ ・ ・ ・ P13
役場人事異動	・ ・ ・ ・ ・ P16
シマの話題その 2	
（上嘉鉄などで防災訓練 他）	・ ・ ・ ・ ・ P18
戸籍の窓・喜界歌壇	・ ・ ・ ・ ・ P19
島に咲く花 vol.46	・ ・ ・ ・ ・ P20

# 平成24年度 施政方針(全文)

平成24年第1回町議会定例会は3月8日に開会し、加藤啓雄町長は平成24年度の施政方針演説をしました。これは今後一年の町行政の柱となる基本政策および各分野の方針について、町長が町議会をおととして町民へ表明するものです。演説で加藤町長は「町民のご協力で効率的な財政運営が維持できているが、慢心することなく職員定数の削減、特別職の給与カット、補助金の見直しなどの行財政改革を引き続き推進し、『心豊かで活力に満ちたうるおいのまち』づくりを基本理念とし、常に「目線を町民と同じ高さに置きながら町政を推進します」と述べ、「町民の皆様や町議会と一体となって町勢発展に努めます」と訴えました。

ここで、平成24年度施政方針の原稿(全文)を掲載します。



今年度の所信を表明する加藤町長

昨年、我が国にとつて忘れることの出来ない大変な一年でありました。東日本大震災、福島原発事故、紀伊半島・奄美地方を襲った豪雨災害等により多くの方が被災し、生命・

財産を失い、改めて自然の脅威を痛感させられることとなりました。被災地では今なお過酷な状況が続いています。一日も早い復興を願っています。今年に入ると記録的な大雪の影響で日本列島各地で被害が相次ぎました。日常生活にも支障をきたし、各自治体では財政措置等対応を余儀なくされたところでございます。政府の経済見直しによりますと、平成24年度の日本経済は、本格的な復興施策の集中的な推進によって着実な需要の発現と雇用の創出が見込まれ、国内需要が成長を主導し、世界経済については欧州

政府債務危機を主因とする世界の金融資本市場の動揺が、各国政府等の協調した政策努力により安定化することを前提とすると、主要国経済は減速から持ち直しに転じていくと期待されています。これは、我が国の輸出や生産にとつて望ましい環境をもたらしていくと考えられます。

こうしたことから我が国の景気は緩やかに回復していくことが見込まれていますが、実感といたしましては、厳しい状況は変わらず、景気回復の兆しがなかなか見えてまいりません。加えてT P P問題など懸念事項も多く、先行き不透明感が増すばかりです。本町においても基幹作物のサトウキビが過去に例のない干ばつ、日照不足、台風による塩害、害虫被害等の悪条件が重なり、大幅な減収が予想されており、本町経済に与える影響が危惧されているところでございます。

こうした厳しい情勢ではございますが、本町の歴史的な事業でありました学校再編も準備が整い、4月からは中学校一校、小学校二校、幼稚園二園の新しい体制がよいよスタートいたします。再編によりこれまでの課題が解決され、児童生徒の学習環境が充実することによって、本町の

未来を担う子供たちが「ふるさとと自らに誇りを持って」健やかに成長する姿を確信しているところでございます。

スクールバスターミナルや喜界中学校の多目的教室の整備、各小中学校への特別教育支援員の配置等学校再編関連事業につきましては、今年度も重点的に予算を配分しております。

昨年度完成したセリ市場で行われた大島地区肉用牛振興大会は大変活気あふれる大会となりました。今後も本町畜産事業の拠点施設として果たす役割に期待しているところでございます。カンキツグリーニング病の世界初の根絶となる特殊病害虫防除対策の取り組みの成果など、島外へ発信できる情報もございません。

国営かんがい排水事業の負担金、一期分の繰り上げ償還が24年度で完了いたします。繰り上げ償還により一期分、二期分あわせて約4千万円の財政効果がございました。単位面積あたりの投資額は全国でも類を見ない施設で、その効果は皆さんご案内のとおりでございますが、今後も島の貴重な財産である水資源として恩恵を受けるものと思っております。

消防防災関係では、高規格

救急車の配備により町民の「いのち」をつなぐ救急活動の更なる充実を図ってまいります。

東日本大震災は我々の災害に対する備えの認識を根底から覆すものでした。平成20年に見直しを行った地域防災計画の修正を含めて防災関係の事業については、優先順位をつけて、しっかりと対応してまいります。防災マップの作成・標高表示・緊急避難路整備等を実施し、防災体制の強化を図り、「安心・安全」の確保に努めます。

ただ、ひとたび大規模な災害が発生すると、行政が行う「公助」では限りがあります。自らが守る「自助」と自主防災組織によりお互いに助け合う「共助」が重要となります。まさしく元来この島にある地域の絆や豊かな人情、助け合いの精神を活かせるものと思っております。

月日が経つのは早いもので、平成12年に町民の皆様からの信任を得て私が町政をとり、今年で12年目を迎えます。就任当初から市町村合併問題や国の三位一体改革の影響を受けた財政難問題等々、重要な課題が山積する大変動期でございましたが、私は、常に目線を町民の皆様と同じ高さに置き、悩みや問題意識を共有



するため徹底して情報を公開し、集落を回り町政懇談会を開き町民の皆様の生の声を聞くことを心がけてまいりました。

また、厳しい財政状況の中で、住民サービスを低下させることなく効率的な行財政運営を維持するために行財政大綱及び行財政実施計画と「集中改革プラン」に沿って行財政改革を進めてまいりました。学校再編をはじめ、保育所、訪問給食の民営化、空港臨海公園の指定管理者制度への移行、職員定数の削減、補助金の見直し等を行い、一定の成果は出ているものと認識しております。

本町が健全財政を維持できるのも職員の見直しももちろん町民の皆様並びに議員各位のご理解があったことだと思っております。

現在も、補助金の見直し、特別職の給与カットなど多くの改革を継続的に進めておりますが、慢心することなく、職員定数の見直しや事務事業の見直し等更なる行財政改革を推進する必要があると思っております。

更に職員一人ひとりが知恵と勇気を出し合い支え合いながら成熟した自治体経営に取り組めるよう職員の資質の向上に努めてまいります。

平成24年度も本町の美徳でございませう「まごころと信頼の絆で興す町づくり」の実現に向け、施策・事業全般において内容を深化させることを基本に取り組み、庁内の横断的連携を図り、議会及び町民の皆様と一体となつて、町勢発展に努めてまいれる所存でございます。

それでは、主な施策について申し上げます。

### 1 地域を支える基盤づくり

#### 糖業振興につきました

平成23年度のさとうきび生産量は春先からの低温や5月下旬・8月上旬の台風による塩害、そして干ばつ等の気象条件により生育不良となり平成17年度以来、7万トンを下回る見込みとなつており、大変厳しい年となります。町としては、生産者の生産意欲向上に向けて優良種苗の供給、管理機械、収穫機械の機能向上への助成を行っています。近年、減収の要因となつている害虫対策として農薬の助成も行つてまいります。また、町の増産計画に基づき、株出面積の拡大並びに株出単収向上のための指導を行つてまいります。

国内外では、TTP（環太平洋連携協定）の参加問題について、さとうきびを取り

巻く情勢は厳しいものがあり予断を許さない状況にありますが、関係機関・団体ならびに地域と一体となつて認定農業者の確保や作業受託の推進に取り組んでまいります。

#### 畜産振興につきました

昨年度の自然条件等の影響を受けた農畜産物の低迷の中で国民の牛肉消費が回復した影響もあり子牛価格は後半になつて上向いてきており安心して飼育しているところでは、肉用牛生産は、豊富な草資源を活用した繁殖経営が行われ飼養規模・頭数も着実に伸びてきており年6回のセリ出荷頭数も1200頭を超え、更に新しいセリ市場も完成し畜産振興にまい進しているところでは、これからはコスト削減を図るとともに新規農家の確保、育成指導を徹底して産地間競争に負けない足腰の強い肉用牛農家の強化を図つてまいります。

#### 野菜振興につきました

畑地灌漑施設を利用し、重点品目のトマト・カボチャ・メロン・ソラマメその他野菜の作付面積の拡大と施設園芸の推進及び園芸農家の育成と品質の向上を図つてまいります。また、防風対策として平張施設の導入を関係機関と検討しているところであります。

#### 果樹振興につきました

既存の柑橘類がゴマダラカミキリムシの蝕害を受け枯れる被害が発生しており、被害軽減のため虫の買い取り及び薬剤による試験を行います。マングローについては、新規就農者が増えつつあり、既存農家研修や先進地研修を行い技術の習得を図つてまいります。また、今年度は奄美農業創出支援事業を導入してマングローハウスの設置を計画しております。

#### 花卉振興につきました

平成21年度にキクエそ病（ウイルス）の発生が確認され、無菌苗を栽培し、配布しているところでは、今年度も無菌苗の栽培、配布を行い農家所得向上を図つてまいります。

#### ゴマ振興につきました

昨年、農産物加工センターに洗浄機、乾燥機、選別機が導入されたことによりゴマの付加価値を付けることができました。近年はゴマ生産面積、生産量も安定しており、これからゴマ加工の需要が増えていくことと思っております。これに伴いゴマ産地として、特別栽培で安心、安全なゴマの生産を推進し生産拡大を図つてまいります。

#### 特殊病害虫防除対策のカン

キツグリーニング病につきま

れませんでした。今後、様々な手続きを経て根絶宣言がなされる見通しです。

また、アリモドキゾウムシは平成22年度より喜界町全島を調査範囲とし、不妊虫放飼、密度抑圧、トラップ調査と段階的に撲滅を図つております。

#### 営農支援センターにつきました

しては、さとうきびの側枝苗・補植用一芽苗の生産販売とパッションフルーツ・パパイア等の苗を販売供給し、果実作物の普及に取組んでまいります。島ミカンの果樹類も苗木の増殖を行い町民に販売して在来ミカンの保存を図つてまいります。なお、ボタンボウフウ（潤命草）の試験栽培にも取り組んでおり普及も図つてまいります。また、同センターの施設等を活用して研修生を受入れ、新規就農者・農業後継者の育成にも取り組んでまいります。

#### 農産物加工センターにつきました

ましては、島ミカンのジャムやマーマレード、トマトケチャップ等を商品化し、販売を始めております。また、ソラマメの皮むきや製粉などの受託も多く、年々利用者も増えております。昨年はゴマ選別機、ゴマ洗浄機等を導入し多くの町民が利用し、本町の特産品であるゴマに付加価

値をつけ販路拡大や加工技術の促進に役立っています。また、新たな加工グループを育成し、更なる加工センターの利用促進につなげてまいります。

**県営畑地帯総合整備事業（担い手育成型）**につきました。手久津久地区は事業施工中であり、昨年に荒木中央地区が採択され今年度から事業実施してまいります。中里地区については、今年度申請し平成25年度採択を予定しているところと見られます。

**県営畑地帯総合整備事業（担い手支援型）**におきましては、前年度に引き続き羽里地区の土層改良及び農道舗装事業を実施してまいります。

**海岸保全施設整備事業**におきましては、前年度に引き続き、白水と早町の間の防波堤建設を実施してまいります。

**基幹水利施設管理事業**におきましては、前年度同様、地下ダム施設の維持運営と揚水ポンプ点検整備補修を実施してまいります。

**農地・水・保全管理支払交付金事業**は、今年度から平成28年度まで5年間実施する事業で昨年までの農地・水・環境保全向上活動推進事業に変わるもので事業内容は昨年度と同様ですが、「日本で最も美しい村」連合の一員として

景観対策に力を入れ、道路・水路の維持管理の共同活動の支援を図ってまいります。

**林業振興につきました**は、森林は多様な環境保全と二酸化炭素吸収作用が最も重要なこととされています。本町におきましても、森林の果たす役割は大きく、造林・森林管理を進めているところで

す。島の水瓶である百之台地区は唯一の森林地帯でほとんどが人工林であり水源涵養林として公益的機能を高めてま

いります。また、海岸においての森林は、台風等の被害軽減を目的とした重要な防災林で、景観対策も含め整備を行ってまいります。また、松

食い虫被害で喪失した松林は、新たに抵抗性クロマツの造林を継続的に行います。

**水産業につきました**は、離島漁業の活性化を図るために、離島地域再生支援事業の取り組みを引き続き行ってまいります。

**商工業の振興につきました**は、消費者ニーズの多様化や人口減少の要因に加え、雇用不安による購買意欲の低下により、本町の商店街や小売店は依然として厳しい状態が続いています。

このため、事業者の経営力向上や地域活性化を図るため商工会への助成を引き続き行

います。また、融資利用者への利子補給の支援策も継続して行い、事業者への負担軽減を図るとともに経営安定や基盤強化も支援して参ります。

**観光につきました**は、本町の特性を活かした多彩な体験型観光メニューやエコツーリズムを推進し、交流人口の拡大に努めてまいります。また、平成24年度から設立される観光・物産一元的組織である奄美群島観光物産協会と連携し、島の魅力発信、雇用

機会の拡充など地域産業の振興を図ります。その他、観光協会が主催する各種事業を支援するとともに、地域力を生かした美しい町づくりを推進し、本町が加盟するNPO法人「日本で最も美しい村」連

合の理念に基づく活動に取り組んでまいります。

**2生活と福祉の充実したまちづくり**

**（生活環境の整備）**

**（1）公営住宅・下水道・街なみ環境整備**

**公営住宅につきました**は、平成22年度から湾宮戸団地の建替え事業が始まり平成23年度の1棟目完成に引き続き本年度も木造2階建て1棟（5戸）を建設いたします。また、『公営住宅長寿命化計画』に沿って本年度は湾久代真団地

の改修工事を行い、長寿命化を図り更なる住宅管理の経費削減に努めてまいります。

**下水道事業につきました**は、平成11年度の事業開始より14年目になりました。地域の皆さんのご理解とご協力により、整備率は全体計画面積の90%に達しました。

本年度は、引き続き中里地区の管渠工事を5ヘクタールと喜界水質浄化センターの水処理施設の増設工事を実施いたします。

また、公共下水道事業の整備と併せて、個別処理の浄化槽設置整備事業も前年度に引き続き実施し、快適で暮らしやすい生活環境の確保と公共用水域等の水質保全を図ってまいります。

**（2）簡易水道**

**簡易水道事業につきました**は、水質検査計画に基づき定期的に水質検査を実施して、お客様に安心で安全な水を安定供給するために、日々努力しているところでございます。

平成19年度から実施してまいりました南部地区簡易水道統合事業は、昨年度完了し、今年度から全地区に供給いたします。

また西部地区簡易水道につきましては、昨年度は、導水管・配水管布設を実施しまし

た。今年度は引き続き、導水管・配水管布設を実施するとともに、新たに浄水施設の整備に着手いたします。

**（3）ごみ処理**

ごみ焼却施設クリーンセンターは、昨年度応急的に補修を行った煙突部を本年度は全面的に改修工事を実施し、施設の安全と延命化を図ります。また、ごみの不法投棄の防止、減量化など環境衛生の推進にさらに取り組んでまいります。

**（4）と畜場施設**

老朽化が懸念されている「と畜場」については、本町の食文化の一つである「山羊料理」には必要不可欠な施設であります。老朽化した施設の危険防止に努めながら、食肉の適正処理と衛生管理に必要な措置を講じてまいります。

**（社会福祉の充実）**

**高齢者福祉につきました**は、超高齢化社会に対応した在宅福祉サービスや地域福祉活動を推進するためには、社会福祉協議会、民生委員など

の福祉関係機関との連携を強化するとともに、ボランティア団体の育成、地域住民参加の地域福祉ネットワークを構築する必要があります。

外海離島で一島一町の本町でございますが、高齢者が住



み慣れた島で安心して生活が送れるよう、限られた人的資源や福祉施設等を有効に活用し、地域ぐるみで支え合う体制を整えてまいります。

また、長年わが町のために貢献してこられた高齢者に感謝し、敬老金の支給や敬老パス事業、在宅支援のための訪問給食事業、長寿クラブ活動の支援も引き続き実施してまいります。

**後期高齢者医療保険制度につきましては**、超高齢化社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現を目指して、平成20年度に創設された医療制度です。県内全市町村が加入する広域連合が主体となつて運営し、各市町村は保険料の徴収や窓口事務を行っています。

なお、国は後期高齢者医療保険制度に変わる新たな医療制度をスタートさせるため、次期通常国会に高齢者医療改革関連法案を提出する意向のようですが、法案成立の行方は不透明です。その推移を注視し、情報収集に努めてまいります。

**老人福祉施設については**、入居者に、より快適なサービス提供に取り組み、「老いて幸せ」が実感できるように努めるとともに、今後より健全で良好な特別会計を維持し

ていけるよう努力してまいります。

**介護保険については**、3年ごとに各自治体の保険料や事業計画などを見直すことが定められており、平成24年度より第5期介護保険事業計画がスタートいたします。

第5期介護保険事業関連の喜界町高齢者保健福祉計画を別紙のとおり策定いたしましたので、後ほどご報告いたします。

なお、第5期介護保険事業計画では、介護の利用者数、サービス利用量等が増加すると見込まれ、保険料改定のため介護保険条例の改正議案を上程いたしましたので、ご審議をお願いいたします。

**地域包括支援センターは**、地域の高齢者の実態把握や虐待への対応など、権利擁護を含む総合的な相談窓口機能とともに、新予防プラン作成などの介護予防マネジメント、また介護サービス以外の様々な生活支援も含む包括的・継続的なマネジメントを行っています。

今後も高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護事業所等と連携を密にし、きめ細やかな支援を行ってまいります。

**障害者福祉につきましては**、重度心身障害者医療費助

成事業や施設訪問旅費助成事業、心身障害者福祉金の支給等の経済的支援並びに在宅支援の補装具、日常生活用具給付事業を引き続き実施してまいります。

また、身体障害者協会、手をつなぐ育成会、精神障害者施設「ほっと館」の運営にも支援を行い、福祉団体の育成に努めてまいります。

なお、現行の障害者自立支援法は今後廃止され、サービスの利用者負担を応能負担とする障害者総合福祉法（仮称）が遅くとも平成25年8月までに、制定される予定です。

**児童福祉につきましては**、核家族化や女性の社会進出など、多様化する家族環境を見据え、島の将来を担う大切な子どもたちの健やかな成長のため、的確な環境整備に努めてまいります。

保育所につきましては、社会福祉法人「秀心会」に運営を委託しております。民営化に伴い、延長保育等のサービス向上を図っておりますが、今後とも連携を密にし、保護者の要望に応えられるよう保育内容の充実に努めてまいります。

なお、入所児童の決定や保育料の決定・徴収等については、引き続き町が行ってまい

ります。保育料は、国の基準よりも低く設定しており、保護者の負担軽減を図りつつ子育て支援を行ってまいります。

子育て支援センターについても引き続き「秀心会」に運営委託し、保育所に入所していない親子の交流の場として、子育て支援サービスを行ってまいります。

また、児童デイサービスにつきましても「秀心会」に運営委託し、発達に心配のある子どもや障がいを持つ子どもを支援してまいります。

**児童相談関係については**、大島児童相談所や県福祉事務所、町教育委員会、保育所等の関係機関と連携を図り、子育て相談や児童虐待情報の収集、意見交換等を行い、子育てに悩んでいる親を孤立させない方策を進めてまいります。

子ども手当については制度が頻繁に変わるため、詳細な情報収集、広報に努めてまいります。

また、児童扶養手当や障害児支援の特別児童扶養手当など、これら制度の周知・啓発や適正な管理に努め、児童福祉の向上を図ってまいります。

**国民健康保険事業につきま**

高度化等により増大し続ける医療費の抑制を行い、持続可能な制度とするため、医療制度改革が行われています。誰でも安心して良質な医療サービスを受けられる制度の安定的運営を行うよう努めてまいります。

**保健事業については**、医療費リスクの軽減を図るため30歳以上の方を対象とした人間ドック並びに脳ドックの費用に係る助成を行うと共に、40歳以上の生活習慣病等の恐れのある人々には、運動や食事等の生活改善を行って健康な状態を少しでも継続させることを目的に、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）対策を取り入れた特定健康診査及び特定保健指導を実施し、「自分の健康は自分で守る」との動機付けを行い、健康体を維持できるよう支援を行ってまいります。

また、未受診者への受診啓発とともに、病院等よりの情報提供の推進にも取り組んでまいります。

**健康増進対策については**、健康相談や各種検診を定期的に実施いたします。特に、胃がん・肺がん・子宮がん・乳がん・大腸がん検診等については、早期発見・早期治療の重要性を各事業所やイベント

等で啓発し、受診率の向上に

努めてまいります。

また、がん、脳卒中、心臓病、糖尿病、高血圧症及び脂質異常など、食生活の欧米化や高カロリー化、運動不足によつて生じるこれら生活習慣病は、特に重点的に対策を講じる必要がある疾患です。生活習慣改善の重要性について、啓発・指導を引き続き行つてまいります。

**母子保健につきましては、**関係機関と連携し、心身ともに健全な子どもの育成、疾病や障がいへの早期発見・早期支援に努め、よりきめ細かな母子保健を推進してまいります。

産婦人科医が常駐してない本町では、妊産婦の経済的負担軽減を図るため、島外での妊婦健診の旅費、また出産時の待機宿泊費及び旅費についても引き続き助成してまいります。

乳幼児健診、親子教室、生後4ヶ月までの全戸訪問、母子相談、健康教育等の事業も継続して実施いたします。

また、予防接種事業においては、定期予防接種の接種率向上に努めるとともに、子宮頸ガン等ワクチン接種費助成事業も継続して実施いたします。

### 3 「ふるさとと自らに誇りをもつ教育」の推進と生涯学習の町づくり

#### 『21世紀をたくましく生きる子どもの育成』

平成21年度から学校再編に向けて検討委員会を立ち上げ、町民への説明会を実施し、町議会の議決を受けて、本年4月に学校が再編されることとなりました。

再編後は適正規模の学校環境の中で、21世紀をたくましく生きる力を身につけた子どもたちの育成を図ってまいります。

施策の推進にあたっては、平成23年12月に策定した『喜界町教育振興基本計画』に即して学校教育、社会教育を推進してまいります。教育行政の基本目標として『ふるさとと自らに誇りをもつ教育』を基本理念に掲げ、『21世紀をたくましく生きる子どもの育成』の推進を図ります。

そのために、  
1. 知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、生涯にわたって意欲的に自己実現を目指す人間の育成を図ります。

2. 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養い、

これからの社会づくりに貢献できる人間の育成を図ります。

ます。学校教育の推進に当たつては、

1. 『確かな学力』と『豊かな心』『健やかな体』の育成を重点目標に掲げ、その達成に向けて努力してまいります。

2. 『喜界島の子どもたちもやればできる』の信念のもと、『教育の成果を児童生徒の姿で語る』ことを指標として取り組みます。また、教育の成果を上げるために、学校と家庭、地域が連携を密にし、一体となつてそれぞれの教育機能を發揮できるように支援してまいります。

3. 学習指導法の改善や家庭との連携を密にして、基礎的・基本的知識をきちんと身につけさせ、取りたい資格、行きたい学校に行ける学力の定着を図ります。

4. 学校再編を契機として、(1)やる気にもちた人材の育成、(2)喜界島らしい教育、(3)特色ある教育の推進を図ってまいります。

次に、社会教育においては、『生涯にわたつて学べる環境づくりとスポーツ・文化の振興』を基本理念に、『心豊かで、活力にみちたうるおいの町』づくりをめざして、町民が心身共に健康で、生涯

にわたり、生きがいを持つて、充実した人生を送れるよう『学びの場』づくりに努め、全ての人々が気軽に学ぶことができる『生涯学習の町づくり』に取り組んでまいります。

そのために、

1. 生涯学習の一層の充実を図るために、生涯学習の推進体制の充実に努めます。

2. 町民の学びの場の提供、生き甲斐づくりの支援の観点から、各年齢層に応じた学習機会の拡充に努めます。

3. 少年団体の育成や社会教育関係団体の活動の活性化を図るなどのために、社会教育諸条件の整備・拡充に努めます。

4. 家庭の教育機能の活性化、成人教育の充実に努めます。

5. 青少年活動の充実を図るため、学校や関係機関・団体と連携を図るとともに、青少年団体の育成及び指導者養成に努めます。特に子ども会活動の活性化に努めます。

6. 先人が守り育ててきた、他に誇れる素晴らしい伝統文化や文化財の継承や保存・活用に努めます。また、平成24年度は特に民俗資料等の展示の工夫改善にも努

めます。

7. 明るく豊かな活力に満ちた人生が送れるよう、スポーツ活動の支援と環境整備に全力を尽くして取り組みます。特に、平成23年度に設立いたしました総合型地域スポーツクラブへの町民の加入を促進し、より多くの町民が『いつでも、どこでも、いつまでも』スポーツに親しめる環境づくりに努めます。

8. 体育施設・設備の充実については、町民の健康増進とスポーツに対するニーズに応え、現在ある施設の整備・補修に努めます。

8. 体育施設・設備の充実については、町民の健康増進とスポーツに対するニーズに応え、現在ある施設の整備・補修に努めます。



新たに導入されるスクールバス



#### 4 地域発展の基礎づくり

##### (町土の有効利用)

農用地につきましては、農用地（採草放牧地）の総量確保と面積集積による有効利用、地域に根ざした意欲と能力のある担い手の確保・育成を通じた農業の持続的な発展を図るため、農地基本台帳の整備・農地地図システム等を活用し、耕作放棄地の解消、担い手農家への農地集積や優良農地の確保・有効活用等の指導推進を図ってまいります。

また、農業者の老後の生活安定及び福祉の向上に資するため、農業者年金の加入推進活動にも努めてまいります。  
**地籍調査事業につきましては**、本年度は、中里・赤連・池治集落の各一部を実施いたします。地籍調査の成果である地籍図・地籍簿については、各種公共事業等の基礎であり、多方面から早急な整備が望まれているところであり、平成23年度末における進捗率は、18・69%でございます。

**各公園施設や公共施設につきましては**、清掃及び除草等を定期的に行い、利用者が快適に利用できるように施設面の環境整備と維持補修に努め、町民並びに観光客に親しまれる施設として円滑な管理

運営を図ってまいります。

##### (交通通信体系の整備)

**港湾及び漁港整備につきましましては**、船舶の安全な航行や係留等を図る為に沖防波堤の整備を図ってきております。港湾整備につきましては喜界島港（志戸桶地区）の沖防波堤と喜界島港（浦原地区）の沖防波堤を継続して整備してまいります。

荒木漁港地域水産物供給基盤整備事業につきましては、西沖防波堤の整備を継続して行なってまいります。

**町道等交通基盤整備につきましては**、平成19年度から継続して整備をしております。「町道池治湾当原線」は本年度完了予定でございます。平成25年度以降は新早町小学校周辺の通学路を整備する予定です。また、効果促進事業を利用し平成23年度は学校再編に伴いスクールバスを導入いたしました。継続事業として本年度は、喜界中学校の校舍裏側にスクールバスターミナルを建設し、通学路のバス停留所を4箇所整備いたします。

#### 5 行財政の合理化

##### (事務処理の合理化)

窓口業務につきましまして

は、本年度、外国人の在留管理制度が変更されます。町民の身分及び行政サービスの基礎となる業務を正確・迅速・懇切を基本理念に職員一丸となって積極的に推進してまいります。

町広報誌は、町民への施策の周知や島外の出身者への情報提供のため、親しまれる紙面づくりに努めてまいります。本年度も常に新鮮な情報発信を念頭に、広い視野で取材し的確な情報を提供いたします。

以上、平成24年度の町政運営につきまして、「心豊かで活力に満ちたうるおいのまち」を基本理念とし、平成23年度より10カ年計画として策定されました、「第5次喜界町総合振興計画」の5つの基本目標にそって所見を申し上げます。

常に「目線を町民と同じ高さに置き」を念頭に町政を推進し、将来に希望もてるまちづくりのため一杯努力してまいります。

町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 奄美ゆいセンターから会員募集のお知らせ

### ◆奄美ゆいセンターとは？

奄美群島内の中小企業の事業主と従業員が、お互いに協力することにより、楽しく安心して働ける環境づくりをめざし、個々の事業所では実現困難な、福利厚生事業を大手企業並みに行うところ です。

### ◆入会できる方

奄美群島内に事業所を有する中小企業で働く従業員と事業主。

### ◆入会金・会費について

入会金 一人 300円（入会時のみ）

会費 一人 1,000円（月額）

（※1年以上の加入が条件となっています。）

### ◆あなたの企業にとっての三つのメリット

・大手企業並みの福利厚生・お得な税制面・経費削減

### ◆主な事業

- ・慶弔給付金・・・結婚、出産、入学、勤続の各種祝金弔慰金など
- ・健康管理事業・・・各人間ドック、健康診断、PET検診マンモグラフィー、インフルエンザの助成
- ・余暇活動助成・・・旅行費の助成（5,000円以内）芸術文化鑑賞費助成（入場料の助成）イベント参加料助成（2,000円以内）
- ・イベント事業（主催事業）  
今までの例：米村でんじろう（科学の実験）、コロッセコンサート、夏川りみ・BEGINコンサート、三遊亭歌之介（落語）など
- ・指定店購買事業・・・会員が割引料金で利用できる各種施設  
又はお店などの割引契約店の拡大を図る。

お申し込み・お問合せ

(財) 奄美広域中小企業勤労者福祉サービスセンター  
TEL 0997-53-3366

緊急生産対策本部を設置して協力体制確立

来期以降のキビ生産回復めざす



町内のサトウキビ作関係機関は記録的な不作を受けて3月5日、緊急生産振興対策検討会を役場会議室で開いた。

会の冒頭、加藤啓雄町長は「今期の生産量は記憶にないほどの不作となるのが確実な情勢となった。こんな時こそ知恵を出しあって今後に備えよう」とあいさつした。

平成23年度の気象概況や今期の搬入状況について報告があった後、県農業総合開発センター（旧農業試験場）大島支場病害虫研究室の宮地克彦室長が、今期不作の大きな原因となった害虫（メイチュウ類：ガの幼虫）について講話



検討会の様子



さとうきびに深刻な被害を与えるメイチュウ

した。宮地室長は、群島内のメイチュウ被害の状況を報告しながら、防除方法として「新植時（株揃え後や中耕培土の時）に『プリンスベイトS』または『オンコル粒剤』を使用した上で『スミチオン乳剤』の散布が効果的。個々で防除するのではなく、全体で組織的に取り組むことが重要」などと呼びかけた。

他に、町産業振興課からさとうきび産地活性化推進事業（メイチュウ防除対策の実証と啓発）やさとうきび生産回復対策事業（新たに組織する防除作業班への支援）、営農支援センターで増殖中の株出補植

用「一芽（いちが）苗」についての説明もあった。

また、これらの取り組みを円滑にし、関係機関の連携協力を図る目的で「さとうきび緊急生産振興対策本部」が設置された。本部長に加藤町長が選任され、あわせて対策本部内に情報班、生産班、技術班などの設置も決まった。

今期の収量は3月19日時点で5万7500トンが見込まれ、初めて6万トンを割り込むことになった。

サクナーを

新たな特産品に！

『潤命草』で商標登録済み



シマユミタで「サクナー」と呼ばれ、天ぷらなどで馴染みのあるボタンボウフウ（牡丹防風）の栽培説明会が3月9日、約110人を集めて営農支援センターであった。

あいさつで栄常光産業振興課長は「さとうきび不作やTTP問題、公共事業の減少など諸問題があるが、島の産業振興のために、島に適したあらゆる品目に取り組んでいる。ボタンボウフウは島の気候風土に適しており、高齢者でも栽培できるため、この説明会で理解を深め、ひとりでも多くの人に栽培していただ

きたい」と呼びかけた。



栽培説明会の様子

きたい」と呼びかけた。

喜界島葉草普及協会の澄川盛昭代表は、与那国島や徳之島での栽培状況などを紹介しながら、「化学肥料や農薬が不要で（商品価値がなくなるため使用は厳禁）、動脈硬化や脳梗塞の予防に効果的なポリフェノールを多く含み、最近の健康ブームもあって需要は大きい。ぜひ喜界島で生産から加工、販売も含めた6次産業化をめざしたい（買取額は1キロ／150円を予定）。『潤命草（じゅんめいそう）』の名で商標登録もしている」と説明した。

また、叶一寿営農支援センター所長は栽培方法について播種（種まき）、定植（畑に移植）、収穫と大きく3段階に分

けて「播種は9月下旬から3月で、育苗土（与作など）を入れた育苗トレーにまく。10日から2か月で発芽する。葉が4枚展開したら畑に植える。茎や葉が軟弱なため、スプリングラーでのかん水は避ける。収穫は葉の付け根から2センチ上から摘む。根本から摘むと新芽がでてこなくなるので注意」と説明し、「普及協会の澄田勝敏さんが約1万7千株の苗を育てているので、最初は購入してもよい。その他、詳しくは何でも支援センターまで問い合わせてください」と付け加えた。

説明会後、参加者らは実証農場に移動し、栽培現場を見学した。



現地説明を受ける参加者ら





# シマの話題

「ありがとう、忘れない！  
永遠に」  
——荒木小惜別の会——



この4月に閉校(園)した荒木小学校(佐藤伸一郎校長、児童31人)と荒木幼稚園(同園長、園児6人)は3月24日、同校体育館で「惜別の会」をした。

久保秀敏実行委員長(小学校PTA会長)や集落区長、校長らのあいさつにつづき、地元選出の照周一町議会議員が乾杯の発声をして、会の幕は開けた。

会場いっぱい参加者らは一集落一学校の母校の思い出話に花を咲かせ、往時を記録したビデオの上映やステージでの演し物(だしもの)を楽しんだ。

演し物は、フラダンスや長寿会による踊りなどで、メインイベントは昭和30年生による集落に古くから伝わる民話『山田王と荒木王の力石』の演劇。途中にスロー(おてだま)やゴムトウベ(ゴムとび)など昔の遊びの再現をほさみながら、手作りの衣装に身を包んだ女優・名女優らは明るく楽しく演じきり、会場の歓声と爆笑を誘っていた。

ナレーション役を務めた吉山智子さんは「約1ヶ月間、真剣に練習した。食料をかけて力比べをしたが、互いを認め合い最後は食料を分け合った荒木王

と山田王のように、『相互扶助と最後までやりぬく荒木の子』の精神を忘れない』ことを伝えるために劇をした」と話した。

最後は、柳卓也幼稚園PTA会長の万歳三唱で惜別の会を終えた。



会場いっぱいの参加者が駆け付けた

## 「励まし合った 6年間は宝物」

### ——早町小で 最後の“卒業式”

この4月に閉校した早町小学校(大山巧校長、児童43人)の最後の卒業式が3月22日、同校体育館であった。

式では、卒業生9人(男子5、女子4)一人ひとりが大山校長から卒業証書を受け取った後、誇らしげに高々と証書を掲げ、「お別れの言葉」では「6年間

の思い出が(萩原直人)、卒業証書から伝わってきます(浪島正樹)同じ教室で学び(菊地美帆)同じ運動場で遊び(相良弥花)みんな励まし合った6年間は(河村静香)、ほくたちにとつて大切な宝物です(大山魁斗)この6年間の思い出を胸に(山城みなみ)、心を込めてこの歌をうたいます(藤原萌々)「ここで卒業生が卒業の歌『さよならは言わない』を合唱した「さあ行く新たなる道を(菊地美帆)、大きな希望を胸にお別れします(大山魁斗)、さようならみなさん(前田敦哉)、さようなら早町小学校われらが母校(全員)」と力強く述べた。

最後に、児童、教職員、保護者、校区住民全員で「最後の」校歌を声高らかに斉唱して式を終えた。



“最後”の卒業式の様子

## 乳幼児医療助成について

(県では所得制限を設けているが、本町では所得制限なし)

- 医療費の助成期間  
資格発生日から  
医科・歯科ともに6歳に達する日以降最初の3月31日まで
- 医療費助成  
入院・外来とも保険適用分のみ
- 住民税課税世帯  
3千円を超えた金額  
医療費全額
- 住民税非課税世帯  
医療費全額
- ひとり親医療費助成制度は、母子(父子)家庭の母(父)および児童(18歳に達する日以降の最初の3月31日まで間にある者)に対して医療費を助成する制度です。

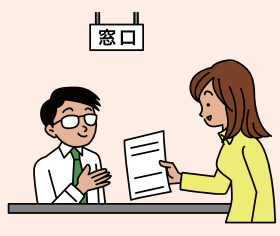
### 児童手当について

出生・転入等により新たに受給資格が生じたときや転出されるときは、役場保健福祉課窓口で届出をしてください。(公務員の方は職場に)認定請求した翌月から、消滅した月まで支給されます。

手当を受けるための手続きなど詳しいことは保健福祉課窓口へおたずねください。  
65-11111 (内線35)



○特別児童扶養手当は、20歳未満で心身に障害のある児童の扶養のために、その父母、または養育者に対して支給されます。



平成二十三年度「基礎・基本」定着度調査の結果について

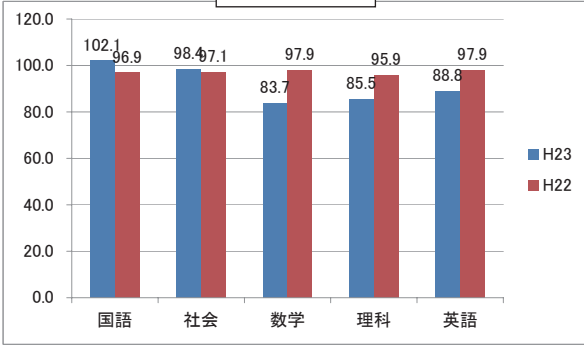
平成24年1月、県下の全ての小学五年生・中学一年生・二年生を対象に学習したことがどれだけ身に付いているかを調べる「基礎・基本」定着度調査が行われました。

下のグラフは、教科ごとの県の通過率を百としたときの本町の平成22年度と平成23年度の平均正答率を比べたものです。

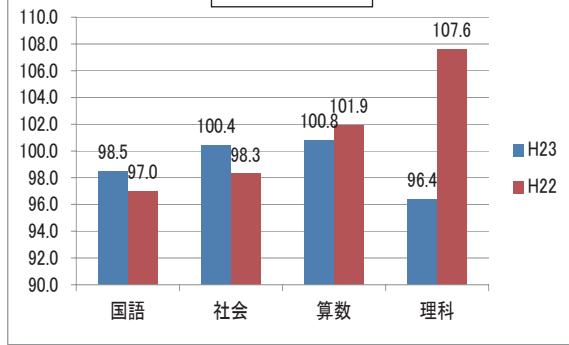
平成23年度「基礎・基本」定着度調査結果

		国語	社会	算数	理科	英語
小5	町	71.3	69.5	70.2	69.7	
	地区	71.4	69.2	69.5	71.3	
	県	72.4	69.2	69.6	72.3	
中1	町	75.6	68.5	55.8	54.7	68.4
	地区	71.7	67.6	65.3	61.3	75.4
	県	74.0	69.6	66.7	63.9	77.0
中2	町	64.3	64.4	51.9	60.3	64.0
	地区	63.2	61.1	61.5	59.9	64.0
	県	65.7	63.4	65.7	64.6	69.8

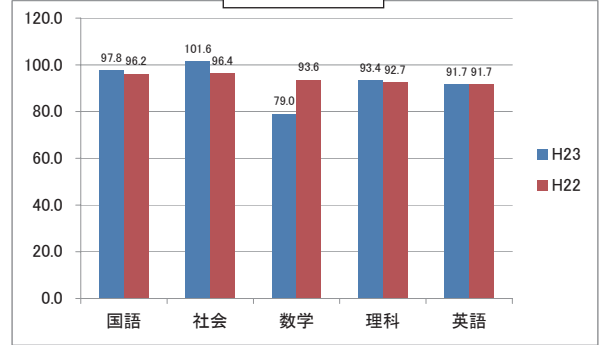
中学校1年



小学校5年



中学校2年



各学校の学力向上の取組と本調査結果から、次のような成果と課題がありました。

【成果】

小学校は社会、算数で県平均よりも高い学力を身に付けている。また、昨年度と比較すると国語と社会に伸びが見られる。中学校は中一の国語、中二の社会が県平均よりも高い学力を身に付けている。

【課題】

小学校は、昨年度と比較して算数と理科が落ち込んでいる。特に理科は、昨年度との差が非常に大きい。国語に関しては、

昨年度より伸びているものの県平均を下回っている。基礎的事項を見直すとともにこれまで取り組んできた言語活動について、より一層充実させていく必要がある。

中学校は中一の数学・理科・英語、中二の数学が落ち込んでいる。特に数学については、二年連続落ち込んでいることから、つまずきの根源を適切に把握し、改善策を講じる必要がある。数学は、系統性の強い教科であることから小中の連携を図りながら課題解決に向かう必要がある。また、子どもたちの考える力を育成する上で問題解決的な学習の展開について充実を図る必要がある。

学力は、「自分の夢を実現する」ため、「変化の激しいこれからの社会を生き抜いていく」ために最も基礎となるものです。

子どものために、家庭や地域で未来ある子どもたちを支えていきましょう。

「喜界の子どもはやればできる」

「豊かな心を育てる」読書大賞（後期）表彰式

3月20日（火）平成23年度「豊かな心を育てる読書大賞（後期）」の表彰式が喜界町役場多目的室で行われました。

読書活動は、子どもが「言葉を学ぶ」「感性を磨く」「表現力を高める」「創造力を豊かなものにする」等、豊かな心を育てるために欠くことのできないものです。

喜界町教育委員会では、昨年度から子どもたちの豊かな心を育てるために、「豊かな心を育てる読書大賞」を実施しています。



多読者賞を受賞した児童生徒ら



後期の読書大賞は10月から2月までに、喜界町内小1〜中3までの児童・生徒を対象に、喜界町図書館や、学校図書館、各学級文庫で借りた本の個人の総数を各学校で集計し、各学年の中で、最も本を借りた子どもを「多読者」とし表彰しました。多読者賞を受賞した児童・生徒は、次のとおりです。

小1	湾小	的場もも花	245冊
小2	湾小	都 千聡	321冊
小3	湾小	平 美咲	206冊
小4	早町小	古川すみれ	289冊
小5	湾小	前田 太志	227冊
小6	志戸桶小	富田 春佳	128冊
中1	第一中	信岡 康貴	42冊
中2	第二中	盛 賢喜	40冊
中3	第二中	岩崎 愛海	48冊



### 科学で遊ぼう & 奄美の素材でクラフト!!

平成23年度主催事業「自然の家がやってきた！」

2月25日(土)に自然休養村管理センターと総合グラウンドで県立奄美少年自然の家と町教育委員会が共催で標記事業を開催いたしました。



【写真】スライム作り(洗濯のりとほう砂で作る)によぶによ(おもちゃ)は好評でした

島の子どもたちは、スライム作りやプラホビー作り(プラ板に好きな絵を描いてオープン

でチン。オリジナルのキーホルダーが完成)、ジャンボシヤボン玉遊びやペットボトルロケット飛ばし(ペットボトルを再利用して作ったロケットを水と空気の圧縮エネルギーで遠くに飛ばす遊び)などの普段は体験することのない活動に、驚きや歓喜の声を上げていました。

### 平成24年度生涯学習課 関係行事予定

- 中央公民館講座合同開講式 (4/22)
- 大島地区スポーツ少年団指導者及び母集団研修会 (5/26)
- 第66回県民体育大会
- 第53回大島地区大会(軟式野球競技) (7/14~15)
- 大島地区読書指導者研修会 (7/27)
- 第39回大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会【相撲競技】 (7/28)
- 第50回記念町民体育祭 (10/7)

- 生涯学習リーダー養成講座(子ども会育成団体・青年団体・PTA・女性団体・長寿会対象) (10/21)

- 「文化の日」フェスタ (11/3)

- 県立博物館主催事業「博物館がやってきた」 (11/9~11)

- 第47回島内一周駅伝競走大会 (11/25)

- 中央公民館講座合同閉講式・公民館祭り (12/9)

- 青少年武道錬成大会【相撲】 (12/22~23)

- 喜界町成人式 (1/2)

- 島唄・島ゆみた大会 (2/17)

以上、主な事業のみを掲載いたしました。  
また、地区・県レベルの事業(朱書き)については、町民の皆様の御参加と御協力をよろしく願います。

### お知らせ

●新設される幼稚園・小学校・中学校の連絡先について

学校再編により新設される学校等への連絡は、次のとおりになりますのでよろしくお願います。

あゆみ幼稚園 TEL 65-0311

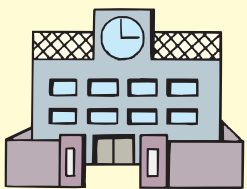
あゆみ幼稚園預かり保育 TEL 65-2847

のぞみ幼稚園 TEL 66-0005

喜界小学校 TEL 65-0004

早町小学校 TEL 66-0004

喜界中学校 TEL 65-0026



# 高千穂神社 湾（赤連）

日本古来からあり、支配階級のみならず庶民の生活にも深い影響を与えた神道は、厳然たる宗教でありつつ、文化的民俗的な側面もあります。世界最古の歴史を誇る皇室の数ある宮中祭祀も当然、神道に則っています（厳かな儀式ばかりでなく、「お田植え」などの行事もある。君主みずから土に触れて労働をすることは他国の王室ではありえず、日本が「瑞穂の国」といわれる由縁でもある）。現代社会においても仏教と影響し合いながら発展・変化・浸透しており、国民の多くは神道への信仰がなくても、日常の冠婚葬祭や年中行事の多くを神道由来（神仏習合を含む）で行っています。国の機関や地方自治体においても政教分離の原則がある中、地鎮祭などの公的儀式が神道により行われています。

喜界島には少なくとも48か所に神社があつて、古くから島民の生活と密着しており（伊砂集落のみ神社がなく、集落民は昔、「見らん神様よりウヤフジ拜め」と誇りにしていた）、まさしく神社の島といえます。シマ遊びは神社で奉納相撲が取られ、その前後には八月踊りがあり、また、天気祭（雨乞）や暦ごとの年中行事にも神道の影響がみられます。

このように、シマ（集落）の生活・文化の拠点ともいえる神社を今月号から紹介します。



“おみくじ”全体運は末吉（すえきち）、恋愛運は「今はまだ駄目です」とのこと

## 神社データ

### 合祀

菅原神社・南方神社  
秋葉神社

### 御祭神

高千穂神社  
天津彦瓊々杵命

（あまつひこににぎのみこと）  
菅原神社

菅原道真  
（すがわらのみちざね）

南方神社

建御名方神

（たけみなかたのかみ）

秋葉神社

迦具土神

（かぐつちのかみ）

### 御利益・靈力

天津彦瓊々杵命

『豊年満作・国土安穩・  
家内安全』

### 御神格

天津彦瓊々杵命

穀物の神

菅原道真

学問の神

建御名方神

水の神（農耕・狩猟・風）

迦具土神

火除けの神

### 旧社格

高千穂神社

郷社

菅原神社

村社

南方神社・秋葉神社

（不明）

### 創設

明治3年（1870年）

### 祭日

旧暦9月19日（シマ遊び・9月

遊び・19日遊び）

### 総本社

高千穂神社

宮崎県西臼杵郡高千穂町

（高千穂神社）

菅原神社

福岡県太宰府市

（太宰府天満宮）

南方神社

長野県諏訪市

（諏訪大社）

秋葉神社

静岡県浜松市天竜区

（秋葉山本宮）

### 〈参考資料〉

喜界町史、喜界島見てある記（町教委編）、喜界島の民俗（竹内讓著）、喜界島今昔物語（三井喜禎著）

【監修】喜界島神社研究会

会長 上園田健



明治元年（1868年）の廃仏毀釈令により、住民らに厚く信仰されていたノロ・ユタ・トキ・下神・仏教などが禁止された。そこで五穀豊穡（米・麦・粟・豆・稗または黍）を祈願し、悪疫災禍を祓い、民心に安らぎを与えようと明治3年、知事藩に申請して建てられた奄美群島13社のうちのひとつが高千穂神社である。

高千穂神社は弘化4年（1847年）に総鎮守御天神宮として建立されたとされる菅

原神社境内に創建された（喜界島代官記より）。戦前まで両社は別々に鎮座していたが、戦災により現在は菅原神社が合祀されている。

なお、平成12年5月に長島商事（ジャングルパークや長島美術館）の創業者である故・長島公佑氏（羽里出身）から寄進のあった浄財で、社殿や手水舎（ちようずや）、狛犬などが新しくなった。鳥居は昭和7年6月に大屋蘇良氏が建納している。



# ミカンの害虫

## ゴマダラカミキリ

### 買取ります！！



ゴマダラカミキリ

#### 【持ち込み場】

喜界町役場産業振興課

#### 【買取り金】

1匹につき30円！！

#### 【買取り期】

平成24年5月1日～平成24年7月31日まで

近年、町内全域で【ゴマダラカミキリ】による被害が、拡大しております。

先祖代々からの、貴重な在来柑橘を守るためにも、ご協力宜しくお願いします。



※捕獲・捕殺して時間が経過すると、異臭がしますので、なるべく早い内に持ち込んでください。

※ペットボトルに入れての持ち込みは、なるべく控えてください。

※持ち込みの際は、印鑑を持参の上お願いします。

喜界町役場産業振興課 園芸担当 65-1456

# KAGOSHIMA POLICE

## 平成24年度

# 警察官募集

大量採用★今がチャンス!

明るい未来のために

私たちは、あなたを求めています。



### 採用区分 (大学卒業程度)

- ・警察官A (男性)
- ・警察官A (女性)
- ・警察官A (武道)

＜前年度合格者実績＞	
★ 警察官A (男性)	121人
★ 警察官A (女性)	15人
★ 警察官A (武道)	3人

### 受験資格

昭和56年4月2日～平成7年4月1日に生まれた者で、学校教育法による大学(4年制以上のもの)を卒業した者若しくは平成25年3月末までに卒業見込みの者又はこれらと同等の資格があると人事委員会が認める者

※ 警察官A (武道) は、上記に該当する男性で、柔道又は剣道が3段以上であることを必要とする。

### 第1次試験

試験日: 平成24年5月13日 (日)

試験内容: 教養試験, 論文試験, 身体一般検査, 実技試験 (武道のみ)

試験地: 鹿児島市

### 採用試験案内・受験申込書配布場所

2月28日(火)から鹿児島県警察本部又は県内各警察署, 人事委員会事務局, 県外事務所等で配布します。

※ 郵送による配布も行っていますので, 郵送希望者は下記へお問い合わせください。

### 受験申込受付期間

4月2日 (月) ~ 4月18日 (水)

※ 郵送の場合は4月18日 (水) までの消印有効

＝ 問い合わせ先: 鹿児島県警察本部警務課採用係 ＝

#### ◆電話

代表 (099)206-0110 (内線:2636)  
直通 (099)206-2220

#### ◆鹿児島県警察ホームページ

<http://www.pref.kagoshima.jp/police/>

鹿児島県警察

検索

かごしま  
モバイル県庁  
でも情報発信  
しています!





# 家電リサイクル料金の改正について

## ● 料金の改正

平成 24 年 4 月より家電リサイクルにかかる料金が改正されます。

現在、大きく 4 区分されており、負担する料金は、「販売店などの収集運搬料金」＋「メーカーのリサイクル料金」です。

電気商業組合加盟店での収集運搬料金は、下記料金表のとおりですがリサイクル料金はメーカー等により細かく異なりますので、排出の際お店に確認してください。



## ● 加盟店

ひろでんき、(有)喜界文化、大成無線、クボデン、早町放送社、(有)サンヨー社、(有)清水電気商会、ニシムタ喜界店（計 8 店舗）

## ● 料金表

品名	区分	リサイクル料	収集運搬料	お客様負担額
冷蔵庫 冷凍庫	171ℓ以上	4,830	2,070	6,900
	170ℓ以下	3,780	1,920	5,700
テレビ (薄型含む)	16 型以上	2,835	1,665	4,500
	15 型以下	1,785	1,515	3,300
洗濯機・乾燥機	一律	2,520	1,780	4,300
エアコン	一律	2,100	1,600	3,700

※ 収集運搬料は、小売店等の引取手数料、海上輸送費（町助成額を除く）、陸送費等の合計です。

## ● 不法投棄の禁止

家電等の不法投棄は、周りの迷惑になり、環境にも悪い影響を与えます。

また、不法投棄は廃棄物処理法により固く禁じられており、違反した場合は重い罰則を受けることとなります。

家電製品は大切に使い、使い終わったら小売業者などに適切に引き渡しましょう。

# 平成 24 年度喜界町役場職員 人事異動一覧表 (平成 24 年 4 月 1 日付)

昇格	氏名	新任職	前任職
(課長級)			
	隈崎 悦男	総務課長	建設課長
	金江 茂	建設課長	保健福祉課長兼診療所事務長
○	吉行 進	企画課長	企画課長補佐
○	富 充弘	保健福祉課長兼診療所事務長	保健福祉課長補佐
○	加島 英郎	早町支所長	産業振興課技術補佐兼耕地林務係長
○	得本 拓	生涯学習課中央公民館参事	生涯学習課中央公民館補佐
○	栄 四枝	あゆみ幼稚園園長	湾幼稚園副園長
○	生田 吉一	大島地区消防組合喜界分署参事	大島地区消防組合喜界分署主幹
(課長補佐級)			
	初 秀樹	産業振興課長補佐	住民課長補佐
	孝田 莊屋	保健福祉課長補佐	保健福祉課地域包括支援センター主幹
	竹内 功	中央公民館補佐	中央公民館主幹兼庶務係長
	小林 学	老人福祉施設長補佐	大島農業共済組合【出向】
○	徳 勝志	企画課長補佐兼学校跡地利用対策係長	企画課学校跡地利用対策係長
○	都 博至	保健福祉課主幹兼介護保険係長	保健福祉課介護保険係長
○	沖 康仁	保健福祉課主幹兼国民健康保険係長	建設課庶務係長
○	永井 昌徳	産業振興課技術補佐兼耕地林務係長	水環境課下水道係長
○	実田 輝満	大島農業共済組合【出向】	保健福祉課国保係長
○	米盛 照代	早町支所長補佐	早町支所係長
○	大山 寛	老人福祉施設主幹兼生活相談員	老人福祉施設生活相談員
○	美沢 久子	のぞみ幼稚園園長	保健福祉課係長
○	乾 みち子	あゆみ幼稚園副園長	上嘉鉄幼稚園係長
○	植村 義彦	住民課長補佐	企画課広報係長
(係長級)			
	廣 清太	税務課係長	建設課地籍係長
	寿 満夫	生涯学習課係長	教育委員会総務課係長
	肥後 賢治	生涯学習課中央公民館庶務係長	給食センター庶務係長
	勇 文子	老人福祉施設看護師長	保健福祉課地域包括支援センター看護師長
	値 春美	あゆみ幼稚園係長	湾幼稚園係長
	伊地知 典子	のぞみ幼稚園係長	小野津幼稚園係長
○	福島 悟	総務課係長	企画課主査
○	八木 敏文	企画課係長	税務課主査
○	嶺倉 公人	保健福祉課係長	保健福祉課主査
○	得本 和人	水環境課水道管理係長	水環境課水道管理員
○	西原 清仁	水環境課係長	総務課主査

○	上 督 操	給食センター調理係長	給食センター調理員
(主査級)			
	川 畑 桂	あゆみ幼稚園主査	湾幼稚園主査
	竹田 杏里	あゆみ幼稚園主査	志戸桶幼稚園主査
	揃江 由美	のぞみ幼稚園主査	早町幼稚園主査
(一般職)			
	林 浩之	保健福祉課主事	生涯学習課主事
	碓山 あゆみ	保健福祉課主事	会計課主事
	住岡 京子	保健福祉課保健センター看護師	老人福祉施設看護師
	金久 貴人	建設課空港管理事務所主事	奄美大島地区介護保険一部事務組合出向
	輝 政和	産業振興課加工センター主事	産業振興課加工センター
	吉住 則昭	老人福祉施設主事	保健福祉課主事
	勝本 徳江	喜界小学校学校主事	早町小学校学校主事
(研修)			
	夏目 淳一	鹿児島県総務部市町村課	総務課
(新規採用)			
	久保 恭平	企画課	
	生島 常智	保健福祉課	
	徳 孝則	建設課	
	賀川 英明	建設課	
	大山 勝正	水環境課	
	吉岡 喜治	産業振興課	
	恵 翔太	生涯学習課	
	松原 信之	生涯学習課	
	村上 寛恵	あゆみ幼稚園	
(退職者)平成 24 年 3 月 31 日付			
	嶺 義久	(定年退職)	総務課
	中山 博文	(定年退職)	企画課
	孝志 真人	(定年退職)	早町支所
	喜岡 哲久	(定年退職)	老人福祉施設
	岩井 亮子	(定年退職)	保健福祉課
	要 涼子	(定年退職)	湾幼稚園
	原田 幸子	(定年退職)	荒木幼稚園
	宝 秀利	(早期退職)	産業振興課
	大山 克夫	(早期退職)	水環境課
	伊地知 告	(早期退職)	企画課
	酒井 正子	(早期退職)	湾幼稚園
	青山 美穂	(早期退職)	保健福祉課

異動 44 人、新規採用 9 人、退職者 12 人





# すこやかニューズ

すこやかセンター (TEL 65-3522)

## 健口歯ッピ教室 のお知らせ

お口の健康について、皆で楽しく学びませんか？

65歳以上で介護認定を受けていない方であれば、どなたでもご参加いただけます。

綺麗なお口で元気に！楽しく！美味しく！歯ッピー人生を一緒に手に入れましょう！

★日程 第一回 五月十四日(月)

第二回 六月十三日(水)

第三回 七月十三日(金)

※全三回で一つの内容になるので、出来るだけお休み無くお越しください

★時間 午後二時から午後四時

★場所 旧すこやかセンター(老人ホームとはまゆりの間)

★参加費 無料

★送迎はありませんので、各自でお越しください

★定員 (約15名) になり次第募集を締め切ります

参加申し込み・お問い合わせはすこやかセンター

(TEL 65-3522) 担当 光まで

♪皆様のご参加をお待ちしております。

## ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチンの助成継続について

昨年度から実施しているヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチンの公費助成が今年度も継続されることになりました。

【対象者】

★ヒブ・小児用肺炎球菌 生後2か月から5歳未満

★子宮頸がん 中学1年生から高校1年生(高校2年生で23年度に1回以上接種が済んでいる方の残りの分についても助成対象になります。)

【接種医療機関】

★前川医院

★喜界徳洲会病院

(予約が必要ですので、事前に各医療機関へご連絡ください。)

★接種される場合は、平成24年度分(有効期限が平成25年3月31日までになっているもの)が必要で、役場保健福祉課へ母子手帳・保険証を(持参の上)お越しください。



島の男性は  
早世が多い!!  
原因はお酒の  
飲み過ぎか!!

※早世とは65歳未満で亡くなることをいいます。

奄美地域は、100歳以上の高齢者が多い長寿の島と言われていますが、65歳未満の男性の平均余命は、全国平均を下回っています。死亡率では、40〜69歳の男性は全国平均より1.5倍も高くなっています。

島は飲酒の機会が多く、がんや循環器疾患の危険が高くなる1日平均1.5杯以上(焼酎換算)飲酒する人の割合がとくに高くなっています。肥満の人の割合が20〜69歳の男性で40%もあるなど、青壮年のみなさんの生活習慣に課題があるようです。

日々の生活週間の積み重ねが徐々に体をむしばんでいきます。青壮年のみなさん、あなた自身の健康状態はいかがでしょう。家族の健康にも目を向けてみてください。今年度はぜひ、特定健診やがん検診を受けて、健康の確認や生活習慣の見直しを試みませんか？

## 肺がん検診のお知らせ

今年もいろいろな検診を実施します。スタートは肺がん検診です。年に1回は、検診を受けて自分の体の状態を知りましょう。

★日時 5月6日(日)、5月8日(火)〜11日(金)

★対象 40歳以上で喜界町に住民票のある方

★内容 胸部レントゲン撮影、半年以内に血痰があった方、喫煙指数の高い方は痰の検査

★費用 胸部レントゲンは無料  
痰の検査は1000円

4月中旬頃に、受診票を発送します。受診を希望される方は、受診票を持って、都合のよい会場で受診してください。今年4月以降に胸部レントゲン撮影を受けた方は、受診の必要はありません。その場合は、すこやかセンター(TEL 65-3522)までご一報ください。

健康相談について  
済公民館・早町支所で毎月行っており、健康相談は今年度から中止することになりました。しま興し祭り等のイベントに合わせての相談等がありますので、ご活用ください。また、役場保健福祉課(すこやかセンター TEL 65-

3522)で随時、相談を受け付けております。お気軽にお声をかけてください。

**妊娠届け出はお早めに**

妊娠に気づいたら早めに、病院を受診しましょう。妊娠は正常なものばかりではありません。また、母子共に安心・安全な妊娠・出産を迎えるためには定期的な受診が欠かせません。母子手帳をもらおうと、妊婦健診の公費助成も受けられます。いつでもお気軽にご相談ください!!

**喜界町に転入していらした7歳までのお子さんのいるご家庭のみなさまへ**

予防接種や乳幼児健診は各市町村によって実施内容が違います。前居住地で終わっている予防接種や乳幼児健診等について教えていただける幸いです。役場保健福祉課まで母子手帳を持ってください。お電話でも結構です。よろしくお願いします。

3522)で随時、相談を受け付けております。お気軽にお声をかけてください。



## 地震や津波を想定して大規模訓練 —上嘉鉄地区や公共施設などで—

昨年3月に発生した東日本大震災から二年が経過した3月2日、上嘉鉄地区や役場、湾小学校、病院などで、地域住民や気象庁(名瀬測候所)、警察、消防などが参加する地震や津波を想定しての防災訓練が一齐に行われた。今回は震度7(マグニチュード8.0)が発生し、30分後に最大8メートルの津波が島に到達することが想定された。

上嘉鉄地区では、住民や児童生徒、園児ら約200人が参加。緊急地震速報を受けて一齐に湾頭原へ続く坂道を登り、海拔35メートル地点まで避難し、お年寄りなどの災害弱者の手助けや



上嘉鉄小児童らもキビキビと避難



町長へ報告後、指示を受けて現場へ飛ぶ

より安全な避難経路の確認をした。

同じ頃、役場では職員らが被害状況の情報収集や初動体制を確認。幹部職員らは町長へ状況報告をすると同時に、町長から受けた指示を部下へ伝達するなど、報告命令系統の確認もされた。

同じく湾小学校では昼休み中に、地震を受けての非常ベルが鳴った。校庭や教室で遊んでいた子どもたちは校庭でしゃがみ、机の下に隠れるなど1次避難し、校内放送にしたがつて校庭の中央に2次避難した。担任教諭が全員の無事を確認して校長に報

告した後、直後の津波を想定して、より高台にある中央公民館へ3次避難した。

名瀬測候所技術課の田中宏樹さんは「上嘉鉄では、日頃から訓練しているかのように統率がとれ、連携もうまくできていたが、集落内の道路が狭いため、高齢者などを避難させる際に不安が残る」などと話した。

防災を担当する町総務課の嶺義久課長(当時)は「喜界島沖地震(平成7年)が記憶に新しく、島は地震頻発地帯といえる。沿岸部には人家が多く、津波の危険とも隣り合わせ。継続的に他地域でも訓練をして、全町民で危機管理意識を共有したい」と話した。

他に、病院などでも訓練が行われた。



中央公民館へ避難した湾小児童ら

## 「唄い、語り続けようシマの文化」 —喜界町島唄・シマゆみた大会—



各学校の歴史をシマユミタで披露

れた。

特別企画部門その1では、西商店こと西徹彰さんと勝岡大喜さんによる、三味線とパークッションの絶妙な駆け引きの中でウヌツユミタが独創的かつコミカルにトーク形式で披露され、会場の歓声を集めた。

特別企画部門その2では、昭和13年生まれ同窓生による創作寸劇「方言版 金色夜叉」が発表され、ティーツウク、ハティトウ、アラチイ、ワン、アガレ、それぞれの方言が飛び交う金色夜叉に、会場はおおいに沸き、最初から最後まで笑い声に包まれていた。

(報告 中央公民館 得本拓)

町教育委員会は「島を想う心を大切に、唄い、語り続けよう故郷の文化」をテーマに、平成23年度喜界町島唄・シマゆみた大会(後援、町文化協会)を2月19日、中央公民館で開催した。

同大会は出場者の参加が年々増え続け、今回は島唄部門に22人、シマゆみた部門には12団体、総勢130人が参加した。

島唄部門で、民謡教室や地域の民謡保存会で島唄を習う若き唄者が練習の成果を披露し、シマゆみた部門では、それぞれの学校の歴史や校区との「絆」をテーマにした発表が方言で行わ



金色夜叉の締めは「ヒンニヤジウドウロー！」



# 喜界歌壇

## 〈ミーニシ會〉

昂ぶりののしずまるまでを山鳩の  
くぐもる声にしはし身を置く

嶺倉 祝子

俊寛るりの流離の島なり碑の前に  
赦免ならざる境地に浸る

林 蓮香

舗装路いしに石塊転がりて道端に  
なおし足らえり吾の一善

有村 道子

雨垂れが鼓動のようなりズム打つ  
風邪に臥すわが一人居の午後

平尾 チヨ

友逝きて野辺のおくりに見上ぐ  
れば白鷺一羽遠く去りゆき

弥島 幸子

## 〈萌葉會〉

平安の宮廷女流雅やか押し絵の  
文化いにしへ古語る

豊島 瞳

夕やけについ誘われし車停め  
自然の変化目に焼きつけり

平島 初子

湯のけむり立ちのぼりしは  
たぬき山目に鮮やかな山吹の花

井澤紀美子

春立ちや喜界島しま築立ち行く若人  
の希望掲げり未知なる旅へ

前田喜代美

麗うららかな日々暮らしの安らぎ  
に一服たてて春を待ち侘び

豊島 文子

この白髪妻にあらじと黄泉よみの国  
追い返されし今に生き有り

美代 イシ

身寄り無き人生路くねくねと  
我の残生いかに守るや

安田 初枝

## ごめい福を

### お祈りします

住所	氏名	年齢
湾	前田ミツエ	100才
中里	西 フジ	94才
湾	麓 勇三	75才
島中	盛島 文男	54才
湾	麓 君子	85才
佐手久	濱畑ミヨノ	84才
小野津	博 松枝	84才
小野津	保元 哲夫	48才
赤連	永井喜美子	68才
滝川	満 豊一	88才
花良治	大重 ウメ	77才
伊実久	坂元 クニ	96才

大阪府 西 一吉  
(中里出身)

羽里 上田 モト子

島中 盛島 昭一

湾 麓 益子

湾 麓 文雄

湾 前田 末造

滝川 満 いとゑ

東京都 酒井 綾子  
(花良治出身)

赤連 永井 嘉広

## 戸籍の窓

### こんにちは

### 赤ちゃん

氏名 保護者住所



松田 順平・昇平・赤連



芳 楓花・顕・中里

### 社協だより

#### ■香典返し(敬称略)

赤連	上田 ますみ
志戸桶	竹下 道枝
坂嶺	開 辰

### 『税で創る、あかるい未来』

5月1日は、

軽自動車税の

納付期限です。

納期内に納めましょう。



## 編集後記

4月1日付の人事異動により、この4月号をもって広報きかいの担当を「御役御免」となった。

自分の分身ともいえる今まで手掛けた広報誌を読み返したら「こんなこともあったな」と懐かしく、その時の記憶が鮮明に思い起こされた。正直ホツとしたが、めざしていた「お年寄りからチッコまで、みんなが楽しめる広報誌づくり」はできたかどうか…。

いままでありがとうございます。引きつづき本誌へのご指導とご協力、そしてご愛読をよろしく願います。

(植村)

## 喜界町の推計人口

(平成24年3月1日現在)

世帯数	3,602戸	(△4)
人口	7,999人	(△2)
男	3,859人	(▽3)
女	4,140人	(△5)
( )は前月比		



### シマバナナ（島甘蕉）[小笠原種]

**マ**レー諸島（フィリピン、インドネシア、パプアニューギニアなどが属する島々）原産でバショウ科バショウ属の多年草。バナナの漢字表記は「甘蕉」であるが、古くから日本にあって姿形が似るバショウ（芭蕉布の材料や観葉植物として利用される。食用ではない）の漢字表記である「芭蕉」を用いた「実芭蕉／芭蕉実」もバナナと読める。シマユミタではバナナもバショウも「バサー／バシャー」というが、バナナを「ナイバサー（実がなるバショウ）」、果実を「バションミー」などともいう。



お世辞にも美しいとはいえない花



黒いバナナハート（花苞）がめくれて次々に花が姿を現す

喜界島には小笠原種、仙人種、三尺短幹種という3種の在来バナナ（シマバナナ）があったというが、現在では小笠原種がほとんどである。小笠原種は台風や病害虫に弱いため大量生産には向かないが、果実は独特の風味があって甘味と酸味のバランスが絶妙で、高値で店頭に並ぶ。悪石島や中之島、諏訪之瀬島などのトカラ列島にはトカラバナナがある。

一般的なバナナの花言葉は「風格」。



緑の未熟果（バナナハートが残る）



黄色く熟んだら食べ頃（夏から秋）

### ナワシロイチゴ（苗代苺）

**東**アジアに分布するバラ科キイチゴ属のツル性落葉低木。道端や畑の畦などで雑草にまぎれているが、れっきとした樹木である。苗代（イネの苗を育てるための狭い田。苗床。またはそのための作業）の頃に実が熟するため、この名が付いた。

以前は、赤く熟した果実を子どもらが遊びついでに食べていたが、現在では除草剤の心配があるため、口にしないほうが無難である。

花言葉は「幸福な家庭」「尊重と愛情」。



ナワシロイチゴ果実



花びらは雄しべを包んだまま開かない